

**[成果情報名] 10月下旬開花の黄色秋小ギク有望系統「長崎小ギク4号」**

**[要約]** 秋小ギクの有望系統「長崎小ギク4号」は、10月下旬までに出荷できる花色が黄色の小ギクである。無効側枝の発生がほとんどなく、側枝は立性、葉は小型・立性であり、出荷調整や花束加工が非常にしやすい形状である。

**[キーワード]** 秋小ギク、黄色、フラワーフォーメーション

**[担当]** 長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

**[代表連絡先]** 電話（代表）0957-26-3330（直通）0957-26-4326

**[区分]** 花き

**[分類]** 指導

**[作成年度]** 2014年度

---

**[背景・ねらい]**

燃油や資材等生産コストの上昇により施設花きが厳しい状況にある中、本県では、近年、露地栽培による低コスト生産が可能な小ギクが注目されている。小ギクは家庭用仏花として盆や彼岸、年末を中心に年間を通じて堅調な需要がある。本県でも多くの品種が導入されているが、本県の気候や作型にあった品種が少ない、出荷調整に手間がかかる等の問題がある。このため、栽培特性や品質、草姿に優れ、本県の気候や作型に適合した本県オリジナルの小ギク品種を作型別（7～12月出荷）、色別（白・赤・黄の3色）で育成することとし、ここでは、10月下旬出荷用黄色系統の選抜を行う。

**[成果の内容・特徴]**

1. 秋小ギクの有望系統「長崎小ギク4号」は、長崎県農林技術開発センターの試験圃場において、当センター保有のかば色の秋小ギク選抜系統の自然交配により得られた実生の中から2012年度に選抜した系統である。
2. 花色は黄色（RHS カラーチャート YELLOW GROUP 9-A）であり、管状花が開き始めるまでは緑芯である（図1）。
3. 自然日長下において、6月下旬に定植し、摘心、整枝（3本/株）を行い栽培すると、当センターでは10月下旬までに開花する（表1）。
4. 秋小ギクの黄色品種である「きぼう」と比較すると、無効側枝の発生がほとんどなく、出荷調整が非常にしやすい（表1）。
5. フラワーフォーメーションは3、側枝は立性、葉は小型・立性であり、出荷調整や花束に加工する際、処理しやすい形状である（表1・図2・図3）。
6. 県切り花標準出荷規格において、最上位規格は切り花長80cm、調整重50gであるが、「長崎小ギク4号」は、切り花長98～114cm、80cm調整重52～84gである（表1）。
7. 花芽分化期以降の当センター旬別平均気温について、花芽分化期である8月中下旬頃、2013年度は平年値より高めに、2014年度は低めに推移したが、開花日の変動幅は6日である（表1・表2）。

**[成果の活用面・留意点]**

1. 品種化検討のため、2015年度に県内の生産者圃場において大規模試作を行う。
2. 2013年度と2014年度、対照品種「きぼう」では1日、開花日の変動が見られる。
3. 本系統と同時期に開花する白色、赤色の有望系統も選抜中である。

[具体的データ]

表1. 黄色秋小ギク有望系統「長崎小ギク4号」の開花特性

系統・品種名	試験年度	試験場所	開花日	切り	切り	頂花	有効	無効	80cm調整	花蕾数	花径	茎径	FF	80cm調整重	
				花長	花重	下節数	側枝数	側枝数	後無効側枝数						(cm)
長崎小ギク4号	2013	農技セ	10月28日	98	116	-	11.0	0.5	-	38	45	7.3	3.0	84	
	2014	農技セ	10月22日	114	100	59	6.2	0.0	0.0	28	46	6.0	3.0	61	
	2014	長崎市	10月14日	103	63	53	6.5	0.0	0.0	24	38	5.9	3.0	52	
きぼう(対照)	2013	農技セ	10月28日	105	156	-	9.7	10.0	-	37	36	5.6	3.0	70	
	2014	農技セ	10月27日	112	130	56	5.0	5.0	2.8	27	37	4.8	3.2	50	

注1) 平均的な6本の調査による平均値 -は調査省略

注2) 有効側枝は切り花の先端から下30cmのところまでに発生した花蕾が付いた側枝 その下に発生した花蕾が付いた側枝が無効側枝

注3) 花蕾数は開花輪数と直径5mm以上の蕾数 花径は開花した頂花で測定 茎径は最下位の有効側枝の直下で測定

注4) FFはフラワーフォーメーション(図3参照)

注5) 80cm調整重は切り花を長さ80cmに調整し有効側枝以外と下葉(20cm)を除去して測定

注6) 試験場所の農技セは木柱平張施設 長崎市は小ギク生産者露地圃場(標高約300m)



図1. 「長崎小ギク4号」の開花の状況

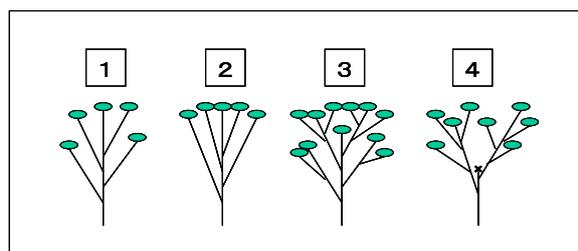


図3. 小ギクのフラワーフォーメーション



図2. 「長崎小ギク4号」の草姿

表2. 花芽分化期以降の旬別平均気温及び平年比 (°C)

年度	8月			9月		
	中旬	下旬		上旬	中旬	下旬
2013	気温	30.9	27.6	23.7	25.8	24.4
	平年比	3.1	0.7	▲2.1	1.6	2.1
2014	気温	26.1	25.4	25.2	22.7	22.6
	平年比	▲1.7	▲1.5	▲0.6	▲1.5	0.3
平年	27.8	26.9		25.8	24.2	22.3

年度	10月			11月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
2013	気温	24.1	19.4	16.6	15.8	10.5
	平年比	3.8	0.7	0.5	1.3	▲2.0
2014	気温	21.2	18.2	17.7	14.6	10.8
	平年比	0.8	▲0.5	1.6	0.1	▲1.7
平年	20.3	18.7	16.1	14.5	12.5	

注1) 長崎県農林技術開発センター

[その他]

研究課題名：長崎県オリジナル秋小ギク  
品種の育成

予算区分：県単

研究期間：2011年度～2015年度

研究担当者：竹邊丞市

※耕種概要(農林技術開発センター)

栽培場所：木柱平張ハウス(1mm目防虫ネット被覆)

施肥：元肥のみ N15,P2O513,K2O13 kg/10a

定植間隔：10×10cmの6目ネット2条植え

整枝：3本/株

管理日程：

年度	挿し芽	定植	摘心	整枝
2013	6月12日	6月27日	7月10日	7月22日
2014	6月4日	6月25日	7月2日	7月24日